

つばた

議会だより

No.155

2020.10.5



9月会議

- ウィズコロナ 新しい生活様式に向けて …… 2
- クローズアップ 医療機器購入費 …… 4
- 議案審議 町営バス車両に抗菌対策を実施 …… 6
- いっぱい質問 コロナウイルスの検査はいつからできるのかなど 7人が登壇 …… 12

ハイジの気分♪

(井上保育園)

表紙写真撮影：議会広報調査特別委員会 竹内 竜也

様式に向けて

9月会議を4日から14日までの会議期間で開催した。初日には町長から一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の制定・改正などを含む31件、承認1件、決算の認定11件の議案が提出され、町政全般について7人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、陳情1件を採択、請願2件と陳情1件を不採択とした。続いて、教育委員会委員の任命について同意した。さらに、議会委員会条例の改正に関する追加議案1件、意見書2件を可決した。

ケーブルテレビ施設光化事業負担金

3億5008万円

最高10ギガの超高速通信と高画質放送への対応を可能とするため、金沢ケーブル株式会社事業主体となって実施するケーブルテレビ施設の光化事業に対し負担金を支出する。町内全域での10ギガへの取り組みは、県内初となる。

将来、さまざまな分野での活用が期待されている次世代移動通信規格「5G」への活用も可能となる。



▲光化されるケーブルテレビのサブセンター (イメージ図)



総務省 5G

ウィズコロナ 新しい生活

一般会計
補正予算

6億4980万円を可決(全員賛成)

2580万円を承認(全員賛成)

一般会計総額209億7357万円に



▲稲穂のように実りある町へ

つばた元気応援プレミアム商品券 発売業務 7200万円

新型コロナウイルス感染症による消費活動の冷え込みに対する町の消費活動を喚起し、町内事業者と町民生活を支援する。

商品券6500円分を5000円で購入でき、プレミアム率は30%となる。10月15日から各世帯に送付される引換券で買い求めることができる。

新生児応援特別給付金

3010万円

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、安心して子育てのできる環境を整えるため一人につき10万円を給付する。対象は、定額給付金の基準日以降である令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児である。



クローズアップ

新たに行われる事業など、一部を紹介します。

交流経済課



▲新しい雇用が期待される



工業団地の紹介

造成が進んでいた大坪地区工業団地の第2区画を、株式会社オハラに売却する。

1億509万円

大坪地区工業用地
売買取約

学校教育課



▲給食で元気モリモリ！

町立小中学校と特別支援学校の小中学部に在籍する児童生徒が3人以上の多子世帯の保護者に対し、学校給食に係る経費を助成する。
令和2年10月に開始し、対象は146世帯を見込む。

554万円

多子世帯学校給食費助成金

健康推進課



▲赤ちゃんを守るために



ロタウイルス

令和2年10月から、ロタウイルス感染予防接種が、任意接種から定期予防接種となったことに伴う委託料。

391万円

乳幼児等予防接種
委託料

河北中央病院

機器の老朽化に伴い新たに内視鏡手術機器を購入する。さらに新型コロナウイルス対策医療機器として、簡易陰圧装置5台、消毒用洗浄機2台、低濃度オゾン発生装置8台、消毒用の高濃度オゾン装置、安全キャビネットを購入する。

3543万円

医療機器購入費

条 例

新庁舎移転に伴い

町の組織機構を改編

令和3年1月1日からの新庁舎移転に伴い、現行組織の町民福祉部、環境水道部を廃止し、新たに町民生活部、健康福祉部を設置するとともに、一部の分掌事務を変更する。

また、本条例改正にあわせ、議会常任委員会の所管を改める。

(以上、全員賛成)

町議会議員・町長選挙
選挙運動の公費負担

町議会議員・町長選挙における選挙運動の自動車使用料とポスター・ビラの作成費用が公費負担の対象となる。
(全員賛成)



町長・選挙管理委員長へ
要望書を提出

選挙運動を公費負担とすることで、多様な人材の議会参画につながる。7月16日、議長が町長と町選挙管理委員長へ条例制定を求め、要望書を提出した。

消防本部



▲救急車に搭載されるオゾン発生器

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、感染対策の強化を図る。
感染症対策消耗品費、全身防護服、感染防止用雨衣、陰圧式傷病者搬送用器具、オゾン発生器などを購入する。

439万円

消耗品の整備費用

感染防止用資機材と

学校教育課



▲加熱調理の手助けに

給食調理員の負担を軽減し熱中症対策を図るため、太白台・中条・井上小学校に、スチームコンベクションオーブンを新たに購入する。

964万円

小学校備品購入費

福祉課



対象者を拡大し、新たに精神障害者保健福祉手帳1級所持者が追加される。また、65歳以上の方は、現物給付となる。開始は、令和2年10月となる。

461万円

心身障害者医療助成費

監理課

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、役場庁舎内窓口等への飛沫感染防止用ポリカーボネートや玄関への非接触型自動消毒噴霧器の設置、南側庁舎への抗菌剤散布を行う。

224万円

感染症緊急対策費

財産

- 新庁舎備品（庁舎・議会等） 6032万円
 - 福祉センター備品 1469万円
 - 新庁舎・福祉センター音響設備等 1166万円
 - 小中学校学習用コンピュータ機器等整備 1億7407万円
 - 津幡運動公園陸上競技場フィニッシュレコーダー 1078万円
- （以上、全員賛成）

人事

教育委員会委員
（令和2年10月1日～）
任期4年
《再任》
鳥越 千春氏（加賀爪）
（全員賛成）



議案審議

9月会議で提出された議案は、各常任委員会や分科会で審議し、多くの質疑がありました。その中の主なものを紹介します。

町税のクレジット収納

システムを導入

-税務課-

Q 導入目的は。

A 感染症対策と収納率のさらなる向上のため。

Q 手数料の負担は。

A 納税者は、納付額に応じて決済手数料を支払う。町は、金額にかかわらず11円を負担する。

Q どのような納付方法か。

A 令和3年4月から、インターネットを使用し、専用のウェブ画面から利用できる。



▲スマホでできます

図書館での感染症拡大防止のため

図書除菌機を購入

-生涯教育課-

Q 除菌機の性能は。

A 職員が、返却された本を紫外線対応の機器に入れることで、30秒から1分ほどで除菌できる。

Q 導入目的は。

A 所要時間は出し入れ込みで3分程度となる。

Q 導入目的は。

A 本を借りる人と職員を、新型コロナウイルス感染症から守るため。



▲導入予定の
図書除菌機
(イメージ写真)



町図書館

GIGAスクール

推進費を増額

-学校教育課-

Q 増額の理由は。

A 感染症などによる学校の長期休業に備えた、家庭からのオンライン学習に要する費用。

Q 他の生徒への対応は。

A インターネット環境が未整備となっている家庭や、日中に子どもだけでインターネットに接続できない家庭には、パソコン教室等の開放も考えている。

Q Wi-Fiルーター回線利用料86万円は。

A 就学援助費等の受給世帯で、インターネット環境のない家庭へ貸し出す3か月分のレンタル料を含む回線利用料となる。

町営バス車両に

抗菌対策を実施

-交流経済課-

Q 対策の方法は。

A 空気触媒による抗菌剤の噴霧を行う。

Q 抗菌効果の期間は。

A 5年間は持続する。



▲乗って安心

先進地に学ぶ

委員会視察レポート

議会改革検討

特別委員会

7/28

タブレット端末の導入を学ぶ

(富山県小矢部市議会)



▲ペーパーレスについて質問攻め

【視察の目的・内容】

平成29年からタブレット端末（携帯型コンピュータ）の導入を検討しており、既に導入済みの富山県小矢部市議会を視察し、活用方法や課題について研修を行った。

小矢部市議会では、審議資料のペーパーレス化や、情報共有による議会運営の効率化などを主目的とする。効果として、資料配布・連絡の迅速化、資料作成のコスト縮減などがあげられる。

災害時における情報伝達手段など、幅広い活用の可能性を感じた。

(報告 委員長 荒井 克)

タブレット端末の導入方針を決定

8月20日に議員協議会を開催し全議員で導入の可否を協議した結果、令和3年度に導入することとし、要件となるペーパーレス会議の実施方針や端末の使用基準などの策定を決定した。

役場新庁舎・全議員で工事を視察



▲内部工事をしっかりチェック

9月7日に全議員で役場新庁舎・福祉センター整備工事を現地視察した。工事現場では、町の担当職員や工事関係者から説明を受け、工事の施工状況や安全対策などについて質問した。最後に、引き続き安全対策を徹底し、作業員の熱中症や新型コロナウイルス感染症の予防、周辺環境へ十分配慮して工事を進めるよう要請した。



新庁舎整備工事

研修報告

県町村議会議長会

議員・監査委員合同研修会（8月19日）

演題 激動するコロナ後の世界と日本のゆくえ
講師 国際ジャーナリスト 蟹瀬誠一氏

津幡町生まれで町広報特使でもある国際ジャーナリストの蟹瀬誠一氏による講演では、新型コロナウイルスがもたらした世界への影響について、長年にわたる各国での取材経験に基づき鋭く、的確な意見を聞くことができ、日ごろの危機管理の重要性を再認識した。



陳情2件を審査

9月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。



請願・陳情の
手続き

採 択

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

◎陳情者

石川県町村議会議長会

会長

酒井 義光
(全員賛成)

《主旨》

コロナ禍は地方税・地方交付税を減少させ、地方財政は厳しい状況になることが予想される。地域の実情に応じた行政サービス提供のため、財源確保等を国に求める必要がある。

採択された1件の陳情は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者 津幡町議会議員 向 正 則
賛成者 津幡町議会議員 小 町 実
同 津幡町議会議員 森 川 章

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療・教育・子育て・防災・減災・地方創生・地域経済活性化・雇用対策など喫緊の財政需要への対応を初め、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、政府におかれては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

5 特に固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来、国庫補助金等により対応するべきものであり、今回限りの措置として期限の到来をもって確実に終了すること。

(全員賛成)

不採択となった請願・陳情

「日本政府に核兵器禁止条約に参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願書

◎請願者 原水爆禁止石川県協議会

事務局長 新井田義弘
紹介議員 塩谷 道子
(賛成2人・反対13人)

賛成

核の傘とは即ち、いざとなれば核を使用するものであり、被爆者の悪夢を再来させる。世論調査でも72%が条約への参加を求めており、悪いものは悪いと主張すべきだ。

塩谷 道子 議員

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願

◎請願者 新婦人たけのこ班

牧野 悦子
紹介議員 塩谷 道子
(賛成2人・反対13人)

賛成

経済財政諮問会議も少人数指導について言及しているとおおり、分散登校での20人学級が少人数学級の利点を実証した。子どもたちへの手厚く柔軟な教育には少人数学級が必要だ。

塩谷 道子 議員

新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見を国に提出することを求める陳情書

◎陳情者 石川県社会保障推進協議会

代表委員 松浦 健伸
(賛成1人・反対14人)

《主旨》

安全・安心の医療・介護を存続するため、コロナ禍によって疲弊する医療機関・介護事業所および従業者について、昨年度年収を確保できるよう新たな公的資金の導入を求める。

委員会の主な意見

昨年度年収の補填については、不確定要素を考慮する必要があると現実的とは言えない。使命感を持ち最前線で働く医療・介護の関係者に対し、診療報酬等の増額で対応すべきだ。

文教福祉常任委員会発議で 意見書を国に提出

新型コロナウイルスの影響を受ける医療機関・介護事業所を支援し、安全・安心の医療・介護を存続していくための新たな公的支援の導入を求める意見書

提出者 文教福祉常任委員長 八十嶋孝司

新型コロナウイルスの感染の広がりによって、医療機関は感染対策に奔走し、介護事業所は感染におびえながら介護を提供している。

医療機関では、①院内感染を恐れ、受診を控えたことによる外来患者の減少、②コロナ患者の受け入れベッドの確保、③医師・看護師等、医療スタッフの特別体制の確保、④一般診療、入院患者数の減少、⑤手術や検査、健康診断の先延ばしやキャンセル等が発生している。

また介護事業所では、感染を恐れた利用者のキャンセルにより従来からの利用者、新規の入所者がともに減少している。

これらのことが、医療機関・介護事業所の収入を大幅に減少させており、経営存続の危機に直面する可能性が高くなっている。

こうした状況のもとで、医療機関や介護事業所が、安全・安心の医療介護を継続していくためには、診療報酬の増額を含めた経済的な支援を実施するなど、新たな公的支援の導入が不可欠である。

よって、政府におかれては、新型コロナウイルスの影響を受ける医療機関・介護事業所を支援し、安全・安心の医療・介護を存続していくために次の事項の実現を強く要望する。

- 1 医療機関・介護事業所が経営を存続するための経済的支援など新たな公的支援を導入すること。
- 2 医療機関・介護事業所で働く労働者を解雇・離職等から守り、相応の所得補償を可能とする新たな公的支援を導入すること。

(全員賛成)

9 月 会 議 の 審 議 結 果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号																
	議決結果	1 小町 実	2 森川 章	3 竹内 竜也	4 八十嶋 孝司	5 西村 稔	6 荒井 克	7 森山 時夫	8 角井 外喜雄	9 酒井 義光	10 塩谷 道子	11 多賀 吉一	12 向 正 則	13 道下 政博	14 谷口 正一	15 洲崎 正昭	16 河上 孝夫
賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除 「日本政府に核兵器禁止条約に参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択 賛2・反13	P9	×	×	○	×	×	×	×	×	—	○	×	×	×	×	×
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	不採択 賛2・反13	P9	×	×	○	×	×	×	×	×	—	○	×	×	×	×	×
新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見を国に提出することを求める陳情書	不採択 賛1・反14	P9	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	×	×	×	×	×

※議長は採決に加わらないため「—」で表示

審議した議案等の一覧と議決結果は、町ホームページに掲載しています。



議決結果

議会インターネット中継

本会議映像をインターネット (YouTube) でご覧いただけます。



スマホでも
視聴できます



議会インターネット
中継

7月会議

一般会計
補正予算

6121万円を可決(全員賛成)
1009万円を承認(全員賛成)

一般会計総額202億9796万円に

感染症対策

全小中学生に夏用マスクを配付

7月16日に7月会議を開催し、一般会計補正予算と請負契約の締結の議案4件、承認1件が提出された。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

○夏用マスク購入費

1009万円

小中学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止、熱中症予防のため、全児童生徒へ1人2枚の夏用マスクを購入・配付する。

○手洗い場等改修工事費

2219万円

感染症拡大防止のため、町内の公共施設の手洗い場等の現地調査を行い、各施設の水栓を自動式やレバー式のものへ改修する。

《改修する施設》

小学校・中学校・町立こども園・町立幼稚園・放課後児童クラブ・公民館・河合谷町民センター・総合体育館・運動公園・コミュニティ消防センター・サンライフ津幡・ウエルピア倉見



▲ひんやり夏用マスクで授業に集中!

○スクールサポートスタッフ配置事業費

432万円

学校運営を支援するスクールサポートスタッフを新たに5人配置する。この追加によりスタッフは8人体制となる。

○災害備蓄用品等購入費

262万円

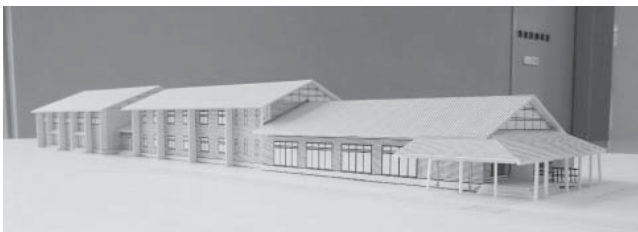
避難所における感染症対策として備蓄用品を購入するほか、不特定多数の人が利用する施設に設置する非接触型体温計の購入など。

請負契約

河合谷宿泊体験交流施設

工事契約を締結

豊かな自然と里山に囲まれた伝統ある旧河合谷小学校の跡地を利用し、子どもから高齢者まで誰もが利用できる施設として河合谷宿泊体験交流施設を整備する。令和3年3月の完成、同年夏の開業を目指し、次の工事契約を締結する。



▲完成模型写真

○建築

豊蔵・表特定建設
工事共同企業体
3億8500万円

○機械設備

株式会社津幡工業
1億166万円

○電気設備

東田電機工業株式
会社
7490万円

(以上、全員賛成)



河合谷宿泊体験
交流施設整備工事

を問う

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

みちしたまさひろ
道下政博 議員



新型コロナウイルス

検査は
いつからできるのか

9月中に開始できる

道下議員

町民の多くは、町内にコロナ感染者がどのくらいいるのかわからないと思う。また、知らない間に家族や知人にうつしてしまっている不安にさいなまれていく方も少なくないと感じる。

河北中央病院では、発熱外来の設置やドライブスルーPCR検査施設の改修を進めている。現在、保健所を通じてPCR検査の検体採取のみを実施している。今後、抗原検査や抗体検査、そして、当院医師の判断のもと、民間の検査機関に直接依頼して行うPCR検査を9月中旬に開始できるように準備している。

矢田町長



▲検査機関の河北中央病院



河北中央病院

新しい生活様式に向けた諸施策は

各種施策を進める

コロナ禍

道下議員

コロナ禍、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援を積極的に推進すべきだ。

新たな日常の構築に向け、さまざまな生活現場で感染拡大を防ぐ取り組みが必要と考える。

例えば、人が集まる場所の水道やトイレ、ごみ等に手を触れない、自動化の推進などの諸施策を示せ。



▲改修前の手洗い水栓



▲自動水栓やレバー式に改修

矢田町長

文化芸術・スポーツの活動継続に向けた取り組みは、オンラインを活用したイベントの推進を図る。

介護、福祉分野では、見守りセンサーなど、ICTを活用した見守りシステムを使用する。オンライン相談窓口の導入も検討する。

公共施設の自動水栓等への交換は進めている。

その他の質問

Q 避難所運営のあり方は。

A 感染症対策対応方針に基づき行う。

Q 公共施設に無料WiFiの整備を。

A 整備を検討する。

Q 全公用車にドライブレコーダーを。

A 車両更新時に設置する。



新しい生活様式



にしむら 西村 みのる 議員

一般質問

町政

町政の方針と施策を問う

安全安心な生活を確保していく



◀経済対策に商工会も一役

西村 議員

コロナ蔓延時代になり、感染症の影響によって、行事やイベントが中止となっている。また、経済活動も様変わりし、大幅縮小により、今後の税収不足が予想される。令和3年度以降の町政の方針と施策を問う。

コロナ禍

矢田 町長

一刻も早い地域再生に向け、国や県の施策とも呼応し、補助金や交付金などを有効に活用し、限られた財源の中で町民の目線に立ち、安全・安心な生活を確保できるようにしていく。

継続事業は計画的に進捗を図りながら、各種事業の効果や必要性を見極め、目的の達成や効果の少ないものについては、整理や縮減も検討しなければならぬと考えている。

町をPR

表現する一言は

「元気なまち つばた」がふさわしい



▲さらなる町の発展に期待

西村 議員

令和2年末には、役場新庁舎が完成する。国道8号線津幡バイパスからも見えるようになり、町のシンボルとなる。津幡町を表現する一言は。

矢田 町長

今ある津幡町は矢田元町長、村前町長が築いた基盤の上で発展しており、私はさらに発展するよう各種施策についてまちづくりを進めている。

このことを踏まえ、あえて表現するなら村前町長もおっしゃっていた「元気なまちつばた」がふさわしいと考えている。



や そ し ま た か し
八十嶋孝司 議員

インフルエンザ

予防接種に

さらなる補助を

助成拡充を

検討している

八十嶋 議員

例年のインフルエンザ流行に加え新型コロナウイルスとの重なりが懸念される。

このような中、インフルエンザ予防接種の助成額を拡充し、早めの接種を促すことは町民の経済的負担はもとより医療機関の負担軽減につながる。さらなる補助を求める。

矢田 町長

高齢者インフルエンザ予防接種は、10月前半から実施し、本年度に限り自己負担500円で接種できるような助成額を拡充する方向で検討している。また、1歳から中学生の子どもへの予防接種助成額増額や妊婦への助成も検討している。



▲今年は早めに接種を



インフルエンザ対策

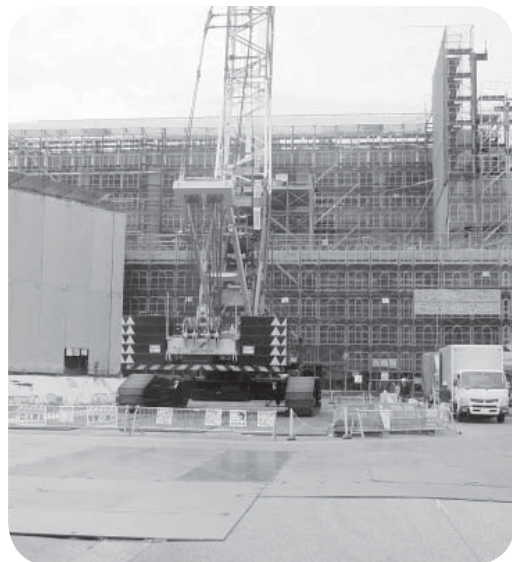
現状と今後の見通しは

危険な水準になることはない

町 財 政

八十嶋 議員

コロナ禍により地方交付税、地方消費税交付金等、歳入の基幹に大幅な減少が見込まれる。町は大型事業を進める中、厳しい財政状況が続くと予想される。コロナ対策関連も引き続き重点的に財源の投入が必要となる。今後の当町財政の現状と見通しを示せ。



▲役場新庁舎完成に向け着々と

納口 企画財政課長

令和2年度は、税収全体で約1億2000万円の減収を見込んでいる。一方、感染症対策に係る臨時交付金等の増収や各種行事の中止等での支出の削減により、ただちに財政状況が圧迫されることはない。着手済みや計画決定済みの事業については、財政計画に盛り込んでおり、今後10年間の実質公債費比率の試算においても、危険な水準になることはない見込んでいる。



竹内 竜也 議員

役場内で発生した場合の要員確保は

事業継続計画に基づき実施する

新型コロナウイルス

竹内 議員

役場内で新型コロナウイルスが発生した場合でも、町民生活を支えるために不可欠な業務は継続しなければならぬ。

小規模な部署で、所属職員の全員が感染者または濃厚接触者となり事務従事者が不在となった場合、代替要員の確保と事務室が使用不可となることへの対応は。



業務に精励する町職員

小倉 総務部長

事務従事者が不在となる状況が発生した場合の対応は、津幡町新型コロナウイルスインフルエンザ等の発生における事業継続計画に基づき業務の重要度、優先度等を考慮した上で実施していく。

職員の確保については、業務内容の変更を行い、業務経験者を配置する。事務室の使用ができない場合は、会議室や文化会館施設等を活用し、業務体制の確保に努める。

財政調整基金

残高増への

考えを示せ

状況が不透明であり

断言できない

竹内 議員

不況や災害時、新型コロナウイルスなどへの対策経費を要する場面を想定し、財政の余力を確保する必要がある。

個人消費の落ち込みな

どによる景気の先行不安が見込まれ、地方税も減収となり厳しい財政運営となる中、財政調整基金

の基金繰入金を計上し、実質の残高は約6億8000万円となる。

矢田 町長

今後、感染症がどのような状況になるか不透明であり、年度末で基金の増額ができるとは断言できない。

こういう非常時こそ、多少基金残高を減らしても対策を実施する。

その他の質問

Q インフルエンザ予防接種を全額公費負担にせよ。

A 助成拡充を検討している。



▲町財政をチェックする決算審査



森川 かわ 議員
もり 森

新型コロナウイルス感染症

接触確認アプリを広めよ

広報などで周知する

森川 議員

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、接触確認アプリCOCOAの活用が、感染拡大防止につながると期待されている。

羽塚 町民福祉部長

最近では、若者の感染者や感染経路不明者の報告もあり、無症状の方も多

このアプリは、GPSなどの位置情報を使うことなく利用者同士の接触を記録するため、個人情報漏えいはない。さらなる周知と導入支援窓口を開設し、広めよ。行動範囲が広い若い世代への周知には大変有効で、一人でも多くの方に本アプリの活用を推進していくことが重要である。導入窓口を設置することは考えていないが、利用者が増えるよう、広報や町ホームページ等で周知を継続する。



▲自分と大切な人を守るために



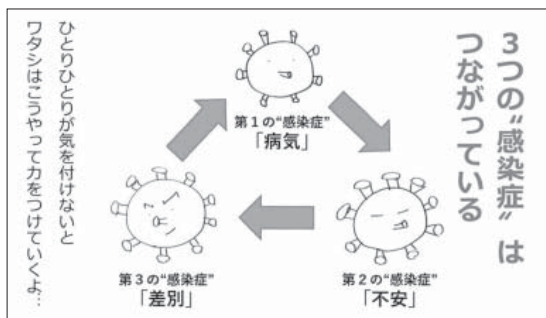
人権尊重に関する宣言を発せよ

現時点では考えていない

コロナ禍

森川 議員

新型コロナウイルス感染症に関して、感染された方やその家族、医療・介護関係等に從事している方々に対する差別や偏見、いじめ等は許されない。感染の拡大が広まる自治体や文部科学大臣からメッセージが発表されており、町としても人権尊重に関する宣言を発せよ。



▲負のスパイラルを断ち切る (資料：日本赤十字社)

矢田 町長

当町においては、現在の感染状況を勘案し、現時点での、人権尊重に関する宣言の発出は考えていない。

新型コロナウイルス感染症に関わる医療従事者等を含めたすべての方々、ひいては町民の人権を守り擁護する必要がある。これからも差別や偏見、いじめなどのない町を目指し、国や県と連携し、必要に応じた対策や啓発を行っていききたい。

その他の質問

Q 地域行事の代替となる取り組みを検討せよ。

A 再開や新たな代替取り組みを支援する。

Q 公共施設にWiFiを整備せよ。

A 整備を検討する。





議員 子道 谷 塩

住宅リフォーム 助成制度の再開を

現時点では考えていない

コロナ禍

塩谷 議員

コロナ禍で仕事を失う方も多い。こういった中で、仕事を生み出す施策が期待されている。内灘町では住宅リフォーム助成制度を発足させて一か月に予算が足りなくなっている。

対策事業として、つばた元気応援商品券や、小規模事業者事業継続等支援事業の創設などを行っている。

今後は、「つばた元気応援プレミアム商品券」の販売も予定しており、住宅リフォームにも利用できるもので、現時点では制度の実施については考えていない。



◀リフォームされる住宅

岩本 産業建設部長

町では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、多くの経済対策を実施している。

新型感染症

感染者への対応は

県からの要請や指示に従い
迅速に対応している

塩谷 議員

当町では、新型コロナウイルス感染症にかかった方は何人で、どんな対応をしているのか。

感染する人が増えたら感染震源地を明確にしてその地域の住民、事業所の在勤者に対してPCR

検査を実施することが大切である。

さらに、医療機関、介護施設、保育園・幼稚園、学校などで定期的なPCR検査をすることが必要である。

羽塚 町民福祉部長

9月3日現在で町の感染者数は18名である。石川県から公表されている内容以外の個人を特定するような情報はなく、県からの要請や指示に従い、迅速に対応している。

集団感染のリスクが高い施設職員に対して定期的にPCR検査を行うことは現時点では考えていない。



▲河北中央病院ドライブスルーPCR検査入口



こ ま ち 実 議員

新型感染症

任意PCR検査 費用の助成を

現時点では考えていない

小町 議員

矢田 町長

新型コロナウイルス感染症拡大防止策で、クラスターや重症患者の発生を防ぐことは重要である。感染者の身近な親族や同僚の家族など、濃厚接触者になる可能性のある方が希望するときに、町独自でPCR検査費用の一部を助成できないか。

新型コロナウイルス感染症への感染確認のPCR検査は、医師が必要と判断した場合に、帰国者・接触者外来等、県が指定する医療機関で実施され、検査費用の自己負担はない。検査については、医師の判断が必要と考えており、現時点では、任意のPCR検査の助成は考えていない。



▲簡単に受けられれば安心できる

助成制度の創設を 検討せよ

ごみ収納庫

新設は考えていない

小町 議員

横浜区の3年計画事業として、ごみ収納庫の設置状況等を調査した。一般家庭からの要望は、設置数の不足や補修の声が多かった。ごみの散乱被害防止のために、ごみ集積所の金属製ごみ収納庫の購入や補修費用の助成制度の創設を検討せよ。

英 生活環境課長

ごみ収納庫の助成については、収納庫の設置が困難な場所も多くあるので、地区負担による設置のほうに、受益者負担、平等性の観点からも妥当だと考えている。現段階において、助成制度新設は考えていない。



▲地区で管理しているごみ収納庫

追跡

あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたかをレポートする。

国土強靱化地域計画を策定せよ

令和元年6月会議 竹内 竜也 議員

地方公共団体は、自然災害によるリスクに備え、地域の状況に応じた国土強靱化地域計画を策定できるが、当町で策定の考えはあるか。

答
弁

調査・研究を行う

当町では当面の間、民間事業者や他自治体などとの応援協定や町地域防災計画、町国民保護計画、大規模災害時における町業務継続計画で対応できると考えているが、関係部局で調査・研究を行っていく。

その後

令和2年6月に策定

当町の強靱化に関する取り組みの方向性を示す指針として、令和2年6月に町国土強靱化地域計画を策定した。計画期間は令和2年度から6年度である。



議会傍聴のお知らせ

12月会議は、12月4日(金)10時からの予定です。

■受付日時 12月4日(金) 午前8時30分～

■受付場所 町役場3階 議場入口前

◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをごらんになるか、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ
議会事務局 (TEL288-6410)



議会傍聴

新型コロナウイルス感染症予防
傍聴でのご協力をお願いします

- 入場時の手指消毒と検温
- 議場内でのマスク着用
- 傍聴席では間隔をあけて着席

スマホで
議会だより

マチイロ

App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。



マチイロ

議会の会議録は
町議会ホームページで
見ることができます。

会議録



津幡町議会HP

みんな楽しくやってみよう!!

津幡町なぎなた教室

サークル紹介第44回

礼儀を学ぼうなぎなたで



なぎなたと聞くと津幡高校という印象を持つておられる方がたくさんいると思います。津幡町なぎなた教室は小学生から入ることができ、小さい時から大人と同じ長さのなぎなたを振り回して頑張っています。大会では教室の仲間と二人一組になって行う演技、一人一人が防具をつけて戦う試合競技があります。普段おとなしい子でも防具をつけると人が変わったように戦う姿に感動させられます。大会以外にも級や段の審査もあります。

代表 **二宮 美紀**
にのみや みき

ぜひ一度なぎなたを体験してみませんか。一緒になぎなたを持ってみましょう。お待ちしています。

《ミニインタビュー》

Q これからどんな町になってほしいですか？

A 少子高齢化が進む現状を見つめ、子どもと高齢者が互いに住み良いと思うまちづくりを推進してほしいです。

Q 津幡町の好きなスポーツはどこですか？

A 町の高台にそびえ立ち由緒正しき雰囲気を感じられる俱利伽羅不動寺鳳凰殿です。

◆活動場所と時間

津幡町総合体育館
 毎週火曜日
 19時～20時

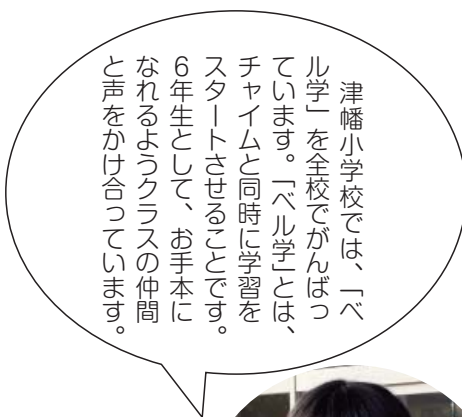
◆連絡先

☎289-6687
 (二宮)

表紙の題字は

津幡小学校6年

伊豆 碧海さんの作品です。
いず あおみ



津幡小学校では、「ベル学」を全校でがんばっています。「ベル学」は、チャイムと同時に学習をスタートさせることです。6年生として、お手本になれるようクラスの仲間と声をかけ合っています。



表紙の風景

井上保育園の子ども達は、園庭でのびのびと、戸外遊びを楽しんでいます。



議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 八十嶋孝司
 副委員長 竹内 竜也
 委員 小町 実
 森川 章
 塩谷 道子
 道下 政博

議会だよりの感想をお寄せください！



議会メールアドレス